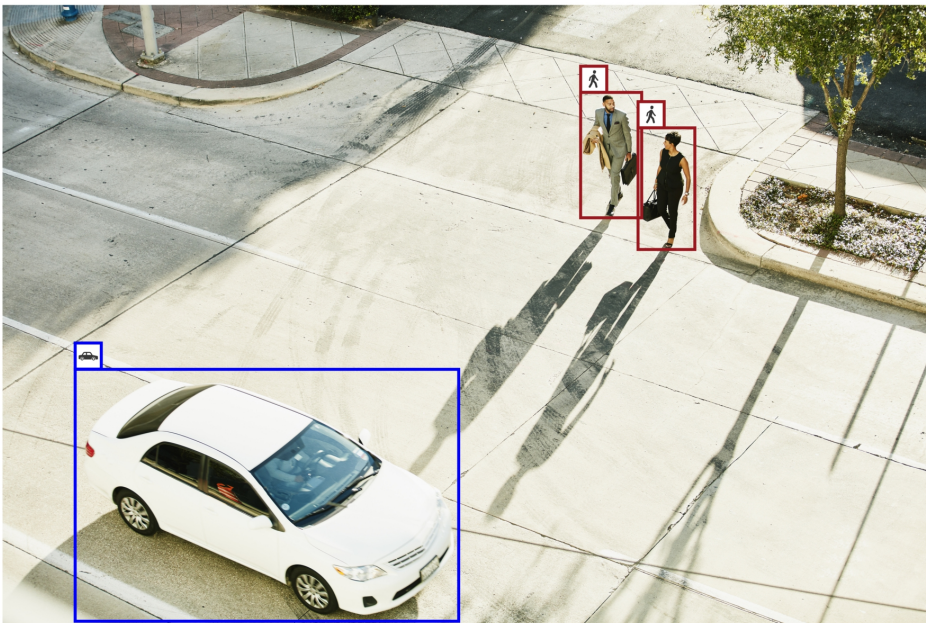


AXIS Object Analytics

実用的な洞察を提供するAIベースの分析機能スイート

このAIベースの分析機能スイートで、ビデオを有益で実用的な洞察に変えることができます。これにより、人間、車両、車種を検知、分類、追跡、カウントすることができます。緊急行動のためのリアルタイムインテリジェンスを提供するため、発生する重要なイベントに集中することができます。また、ダッシュボードやスプレッドシートでデータを視覚化し、傾向やパターンに関する洞察を得ることもできます。さらに、1つのアプリケーションだけで、さまざまな検知シナリオを設定およびカスタマイズし、同時に実行することができます。これにより、セキュリティ、安全性、運用効率の両面において、多くのユースケースに対応することができます。

- > 人間と車両を検知、分類、追跡、カウントする
- > 安全性、セキュリティ、運用効率のために
- > エッジで複数のシナリオを同時に実行する
- > フレキシブルで簡単な設定
- > 追加費用無し、事前インストール済み



AXIS Object Analytics

一般	
代表的な使用事例	定義したエリア内を移動したり、トリップワイヤーを横切ったり、設定した時間、エリア内にとどまったりする物体を検知します。 エリア内の物体、またはトリップワイヤーを横切る物体をカウントします。 屋内と屋外の両方の利用に適しています。
対応デバイス	MLPU ^a またはDLPU ^b と互換性があるAxisカメラにプリインストールされています。完全なリストについては、 axis.com/products/axis-object-analytics/support#compatible-products を参照
コンピューティングプラットフォーム	Edge
設定	使用するWebブラウザ: Chrome™、Firefox®、またはEdge™
言語	英語
機能	
機能	個別に設定可能なトリガー条件を備えた最大10個のシナリオ。 オプションの奥行き設定。
オブジェクトクラス	MLPU ^a カメラ: 人、車両。 DLPU ^b カメラ: 人、車両。車両タイプ: 車、バス、トラック、バイク (オートバイ、自転車)。
シナリオ	エリア内の物体 範囲内の滞在時間 ライン横断 クロスラインカウント 範囲内の占有状態 シナリオは製品によって異なる場合があります。 ^c
制限	コントラストが不十分な場合、検知と分類のパフォーマンスに影響が生じることがあります。
システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX®、AXIS Camera Application Platformなど、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については axis.com を参照) ONVIF® Profile M (仕様については onvif.org を参照)
イベント管理	カメラと統合することで、ビデオ管理システム (VMS) へのイベントストリーミング、サードパーティ製ソフトウェアへのカウントデータのアップロード、イベントアクション (外部出力の駆動、通知、エッジストレージなど) が可能になります。 ONVIF®動体アラームイベント (参照: ONVIF Service Imaging Specification)
メタデータオーバーレイ	トリガー条件をハイライト表示し、検知された物体の軌跡と色分けされた境界ボックスを追加します。クロスラインカウントとエリア内の占有状態については、物体のクラスとタイプごとのカウントを含む表が表示されます。 ^d

- a. MLPU = 機械学習処理ユニット
b. DLPU = 深層学習処理ユニット
c. 詳細については、axis.com/products/axis-object-analytics/support#compatible-productsを参照してください
d. メタデータオーバーレイは製品によって異なる場合があります。詳細については、製品データシートを参照してください。